

プラチナ展望

投資需要の増大で、プラチナ不足は継続か

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、我々が5月18日付で発表した今年度のプラチナ余剰量、7.7トンがさらに増えるのではないかと危惧する投資家筋もあるようだが、プラチナ現物市場を見る限りその心配はないようだ。反対にリースレートの上昇（左下図参照）、フォワード価格カーブに見るバックワーデーション（右下図参照）などによって市場でプラチナが不足していることがわかる。リースレート、すなわち市場価格に対するメタルの貸借コストは供給過剰市場では下がり、供給不足市場では上がるが、プラチナ1ヶ月物リースレートを見ると3月24日から4月16日の間に、0.2%から6.7%（年間）に急上昇し、平均約3%となっている。今までのプラチナの1ヶ月リースレートはマイナス0.2%から0%であった。

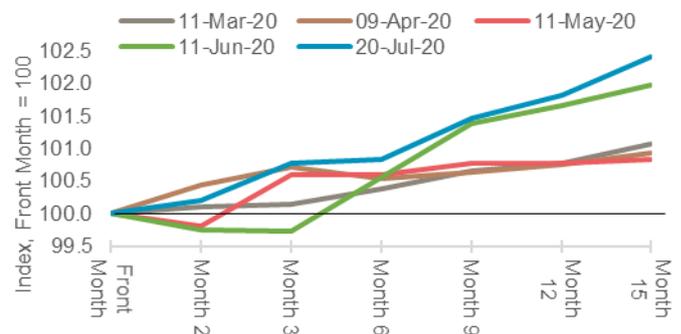
市場で現物が不足する要因はいくつかあり、1つは80日間にわたるアングロアメリカン・プラチナムのコンバータープラント（ACP）の修復を受け、3月6日に発表された今年度のプラチナ供給量は約17.1トンの減少となったこと。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大阻止のため、3月26日から4月30日まで南アフリカの鉱山が完全に閉鎖された影響で6.2トン以上の精製プラチナ生産が減少し、6月1日にやっと全面的に稼働が再開されたことなどが挙げられる。

プラチナ1ヶ月物リースレート（年間）は3月終わりより高止まり



資料:ブルームバーグ, WPIC リサーチ

NYMEXの短期プラチナフォワードカーブは今年第2四半期のほとんどの間バックワーデーション



資料:ブルームバーグ, WPIC リサーチ

民間機に頼る貴金属のグローバルな流通は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた。生産、精製、輸出ルートが制限され、ブリオンバンクによるNYMEX先物の裏付けとなるプラチナ現物の調達に支障をきたした。さらにマーケットメーカーの参加が減ったことでEFP取引の流動性が低下して、現物に対する先物価格のプレミアムが異常に上がったため、投資家の多くは高いプレミアムを払うリスクを負う代わりに、スイスの精製所から50オンスのプラチナ地金バーを買って先物の決済に当てた。7月だけでも5.9トンもの50オンスプラチナ地金バーがNYMEXの指定倉庫に入り、現物不足をいくらか緩和することになった。

消費者の購買意欲の高まりもプラチナ不足を助長した面がある。中国のプラチナ輸入量は今年5月までに過去最高となり前年比30%増の40.4トン。これは製造業者や宝飾業者らが供給への不安と有利な価格に押されて在庫を増やしている結果で、我々のプラチナ展望6月号と7月号では、中国のトラック業界、地金バーとコインの世界的な需要増について報告した。さらに機関投資家の需要回復、主に米国のファンドの貴金属への需要増でETFの買い越しは5月12日以来12.7トン増加した。

現物不足から銀行間のEFP取引と先物プレミアム高騰で、5.9トンがNYMEX指定倉庫へ

5月半ば以来、機関投資家による貴金属取引増で、プラチナETF需要は12.7トン増

Trevor Raymond

Director of Research

+44 203 696 8772

traymond@platinuminvestment.com

David Wilson

Manager, Investment Research

+44 203 696 8786

dwilson@platinuminvestment.com

Brendan Clifford

Manager, Investor Development

+44 203 696 8778

bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council

www.platinuminvestment.com

Foxglove House, 166 Piccadilly

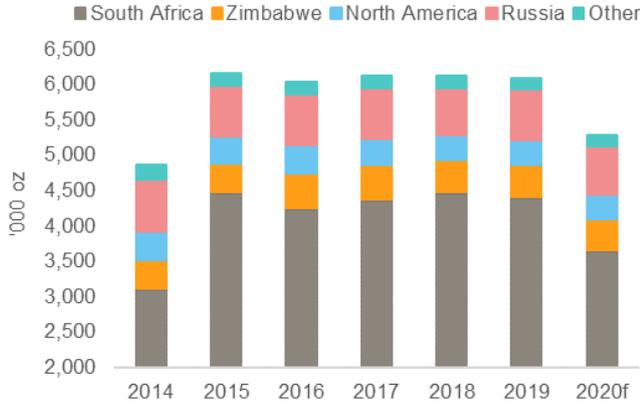
London W1J 9EF

2020年7月29日

投資資産としてのプラチナの魅力:

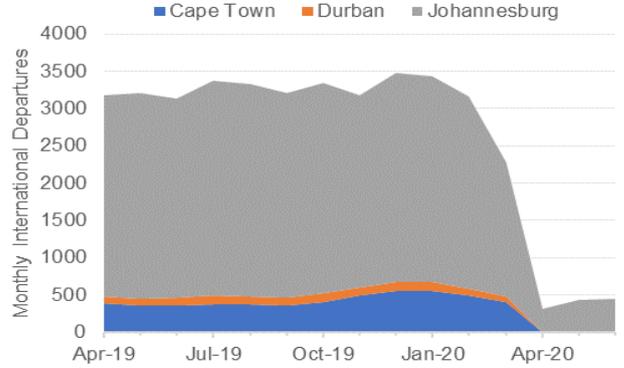
- 新たな PGM 鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM 全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

図 1: アングロプラチナムの ACP 事故と新型コロナ対策で 2020 年度のプラチナ供給は 23.4 トンの減少



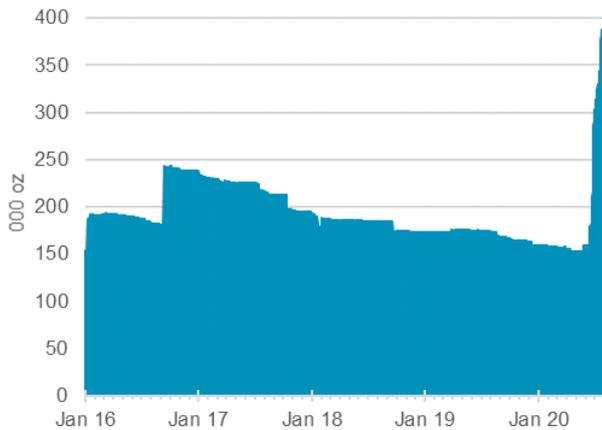
資料: SFA (オックスフォード社) (2018 年まで), メタルズフォーカス社 (2019 年以降), WPIC リサーチ

図 2: 南アのロックダウンで世界平均を上回る航空便がキャンセルされ、金属の輸出を直撃



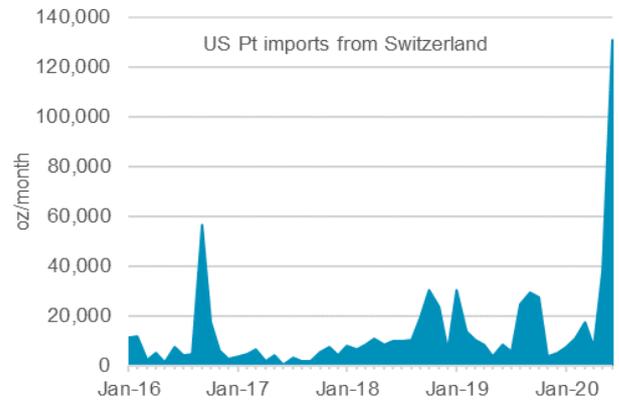
資料: Airports Company South Africa 社, WPIC リサーチ, 2020 年 6 月 3 0 日現在

図 3: 北米のプラチナ現物不足で NYMEX 指定倉庫での保管が大幅増加



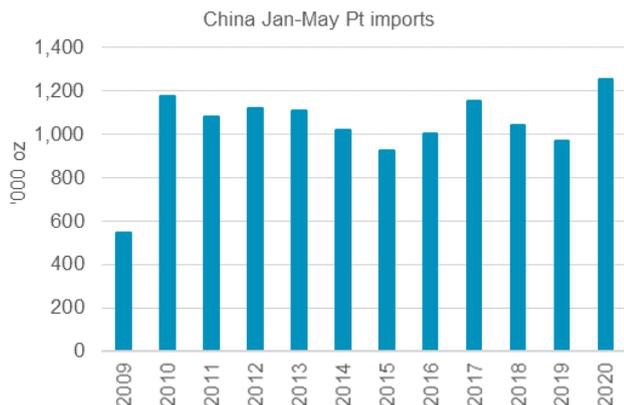
資料: NYMEX, WPIC リサーチ, 2020 年 7 月 2 7 日現在

図 4: 6 月以降に米国の指定倉庫に流れた金属はスイスから



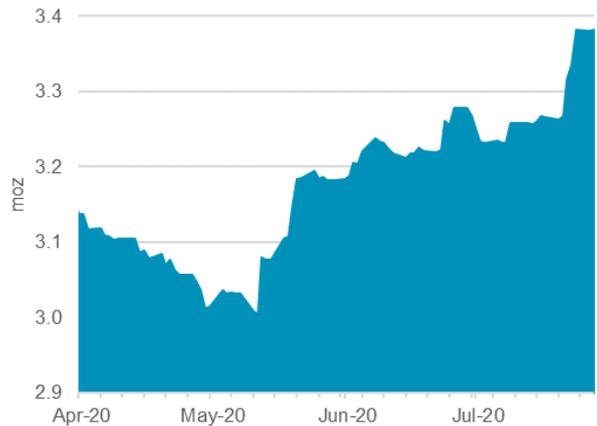
資料: スイス税関, WPIC リサーチ, 2020 年 6 月 3 0 日現在

図 5: 中国のプラチナ輸入 2020 年 5 月までに過去最高に



資料: 中国税関, WPIC リサーチ, 2020 年 5 月 3 1 日現在

図 6: 2020 年のプラチナ ETF 保有量 5 月中旬の低迷からの 12.7 トン増、7.4 トンは米ファンドから



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, 2020 年 7 月 2 8 日現在

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。